

平成30年度 かけがわのぞみ保育園 事業報告書

【施設運営状況】

昨年度、第三者評価を受審しました。今年度はその結果を踏まえ、評価の高かった部分は引き続き取り入れ、改善点として求められる部分を補うことを主な目的とし、園のさらなる質の向上に努めました。

評価の高かった点として、周辺事業所との交流や、保育参加など保護者との信頼関係づくりがありましたので、今年度も引き続き行いました。

改善点として、園の組織づくり、職員体制づくりがありました。職員へのヒアリングを実施し、職員の困り感を捉えたり、災害時などの職員体制を再確認するなど、対策をとりました。

【職員の状況】

職名	平成30年4月1日の職員数					年間退任・就任								平成31年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)						
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正規職員		有期契約職員				計	正 規 職 員	有期契約職員			実 人 員 合 計	常 勤 換 算		
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B		就 任	退 任	契 約 職 員	非常勤A		非常勤B			契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B			常 勤 換 算	
									就 任	退 任	就 任									退 任
園長	1				1		1							1	1				1	1
主任	1				1									0	1				1	1
保育士	14			4	18	2	1							3	14			4	18	16
看護師	1				1									0	1				1	1
栄養士	1				1									0	1				1	1
調理員	2				2									0	2				2	2
保育補助	0		1	1	2							1	1	2	0			1	1	1
調理補助	0				0									0	0				0	0
事務員	1				1									0	1				1	1
嘱託医	0	2			2									0	0	2			2	1
計	21	2	1	5	29	2	2					1	1	6	21	2		5	28	25

* 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

【利用者支援状況】

毎日の保育は、子どもたちの発達を理解した上で、それぞれの年齢に適した内容を選択して組み立てました。特に、季節に合った活動を取り入れることで、自然に対する興味も大きくなりました。幼児クラスについては、食育活動の一環として、ソラマメなどのさやむきや、簡単な調理体験を行いました。

保護者と積極的に意見交換するよう、意見箱の設置を継続しました。

【利用者状況推移】(各年度4月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
29年度	7	18	22	24	24	23	118
30年度	4	18	23	23	24	24	116

【主なできごと】

年間行事予定 別途添付

【その他について】

安全管理

- 防災訓練 毎月1回 避難訓練、消火訓練を実施した。
- 防犯訓練 防犯教室、防犯訓練を年1回ずつ実施した。
- 健康管理 嘱託医による園児の健診、職員の定期診断及び職員の細菌検査を毎月実施した。
なおノロウイルスの警戒時期(10～3月)には調理職員を対象にノロウイルス検査を実施した。
健康管理には最善の注意を払い、感染症については早急にお知らせを出した。
玄関に手指消毒液を常備し、保護者へも使用を促した。
- 衛生管理 おもちゃの消毒や室内の清掃、感染症の流行前には予防を、流行時には消毒を徹底した。
- 安全管理 毎朝、遊具点検を行なった。

地域交流

地域の中学生・高校生や支援学校の生徒の職場体験、専門学校生の実習等、学びの場として園を提供できました。

「夏まつり」と「もちつき会」には昨年を上回る地域の方々の参加があり、園を知っていただく機会となりました。

芋ほり、「もみじコンサート」出演など、「希望の丘」内事業所との交流事業が増えました。

研修会実施状況

別途添付

事業苦情内容及び結果の公表

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
1件	保護者 (無記名)	送迎時、担任が子ども達を怒っている姿を頻繁に見かける。昨年度の担任は穏やかに接してくれていた。対応の違いに不安を感じる。	担任が抱えている問題を把握し、相談および指導にあたる。子ども達の様子が落ち着くまでは、補助の職員をクラスへ配置し、サポートする。保護者へはこの旨を伝え、謝罪した。
1件	保護者 (口頭)	朝の送迎の際、他園児に通せんぼされたり、ドアの鍵を閉められたりすることがある。近くにいた保育士もそれを注意してくれない。困る。	当該の保護者へ謝罪。当時、その場にいた保育士も謝罪した。今後このようなことが無いよう、職員へ周知した。子ども達にも、鍵は大人が触るものであることを指導した。
1件	保護者 (無記名)	駐車場の身障者スペースに停めている車がある。車にマークを付けるか、園からの許可証を発行して欲しい。	職員へ周知し、マークがついていないのに身障者スペースに停めている車があった場合には声をかけるようにした。 全保護者へ身障者スペースの設置目的を改めて周知した。